

2018（平成30）年4月8日（日曜日）に開催された外国籍県民かながわ会議（第10期・第9回）の議事録は次のとおり。

## 事務局説明

- ・トニー ジャスティス委員長が進行を行い、柳晴 実副委員長が進行補助を行った。
- ・事前に各部会から出してもらった提言案を提言素案にまとめ、資料2に添付している。今回は人数が少ないため、部会に分かれず全体で提言内容について議論した。

## 1 全体協議

提言内容について協議を行った。

### 【主な協議内容】

提言1：神奈川県下の多言語情報の電子化に関する提案

- ・【施策化の提案】内の※の部分は、提案の理由に該当するので【理由】の部分に転記すること。
- ・県のホームページが一部変わり、「ハロー かながわ」のサイトがなくなり、トップページにTranslate機能が追加されたと事務局から情報提供され、提言内容について情報・広報部会で再検討する必要がある。
- ・教育・子育て部会で検討されていた子育て情報の多言語化については、情報・広報部会にて扱うことになり、提言1の③に盛り込まれることが確認された。
- ・いろんな情報を調べて手元にほしい時に、印刷がうまくいかないことも多く、印刷用のPDF化されたものがあるとすぐに印刷できて便利。

提言2：多言語情報の電子版の周知に関する提案

- ・チラシの配布と共に、窓口に行った際に目につくようなポスターや看板なども作成し掲示する。また、掲示物の中にURコードなども載せておく。
- ・提言2に記載している、多言語情報を伝えるためのチラシやポスターについては、作製する際に、県民会議のメンバーの意見も取り入れて作製してほしい。

提言3：外国人への情報提供

- ・セミナーの開催地などは、1言語ずつの開催とすること。同じ内容のセミナーを各言語で開催。
- ・同じ言語使用者が多く集まるレストランや販売店、オフィス等で開催できることが望ましい。

提言4：外国人県民と行政の間のコミュニケーション促進

- ・情報をどう拡散してのかが一番大事で、外国人がよくいく場所の選定も大きなポイント。公共機関、行政機関、国際交流関係機関、役所や年金事務所、入管など効果的な場所はどこか検討が必要。
- ・提言3と提言4をまとめて、来日したばかりの人と住んでいる人を対象としたセミナーを開催するという内容でもいいのではないか。
- ・セミナーの実施については、人材や時間の確保をどうするかが大きな課題。
- ・セミナーの内容として、細かくすべてを扱うことはできないので、セミナーで行うべきことと、既存の情報（動画や資料、マニュアルなど）を紹介することと、精査が必要。

提言5：外国人へのサポート体制の強化

- ・フローチャートなど作成するうえで、どのような内容を扱うかが大切。就労部会での精査が必要。

提言6：外国人子育てひろば、外国人ママひろば

- ・子育ての時期に広場でつながっていても、子育て卒業と同時につながりが薄くなるが多く、ママ同士の縦のつながりが役所や年金事務所、入管など効果的な場所はどこか検討が必要。
- ・提言3と提言4をまとめて、来日したばかりの人と住んでいる人を対象としたセミナーを開催するという内容でもいいのではないか。

提言7：外国につながる生徒に対する県立学校の対応やいじめ問題の減少

- ・アンケートの実施も検討したが、県民会議第8期で同じようなアンケートを実施し、検証しているので、その結果を提言内容に盛り込みたい。
- ・知り合いの先生などへの聞き取りから、子どものケアと同時に教職員への研修の重要性や外国人生徒の特別クラスの設置など、今までになかった視点も出てきた。現場の先生の聞き取りを行い、その中で提言の内容を整理したい。(4月26日にヒアリング予定)

提言8と提言9については、時間切れのため、次回までに各自で修正点などを検討することとした。

## 2 今後の会議日程について

次回会議日程は、6月10日を予定している。(資料3のとおり)

## 3 その他

次回の会議までに、今日話し合った内容を踏まえて提言素案を修正し、4月中に事務局まで提出する。

5月19、20日に開催する「あーすフェスタかながわ2018」に、外国籍県民かながわ会議の展示を行うため、当日展示の説明をしてくれる人は教えてほしい。

いじょう  
(以上)